

ハマゴウ クマツヅラ科

ハマゴウは海岸にはえる低木です。7～8月に青むらさき色の花が多数咲きます。幹は砂の上をはって広がるので砂防に役立っている植物です。

株全体によい香りがあり、茎や葉を線香や染め物の材料に使ったり、果実は薬になっているそうです。



写真提供：本多郁夫氏

ハマゴウの特ちょう

茎は地表面を長くはい、その茎から枝が立ち上がっています。葉の表面には毛がなく、裏面は短くやわらかい毛がたくさん生えていて白っぽい緑色をしています。

花は枝の先に多数つき、1つの花の長さは1.5センチほどです。秋になると直径5～7ミリほどの、あわい黒色をした丸い実をつけます。

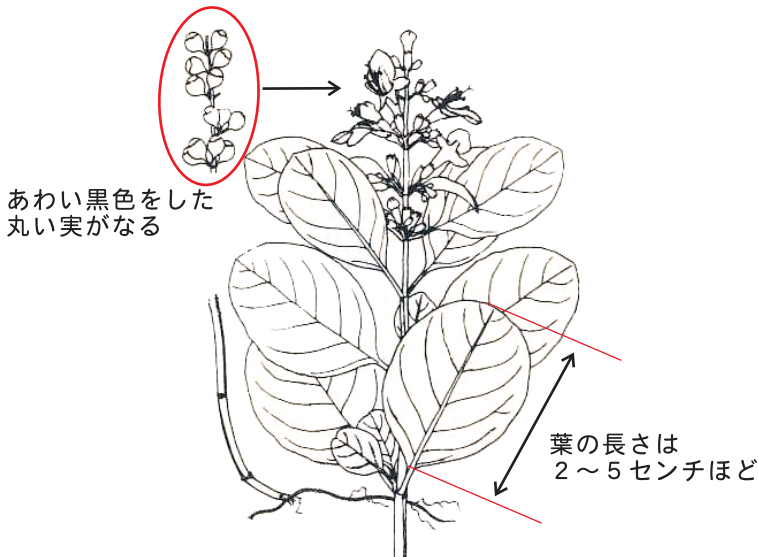
県内の分布

石川県の全域の海岸に分布しています。

見つけやすい場所

波打ちぎわから離れた砂浜のゆるやかな斜面によく見られます。

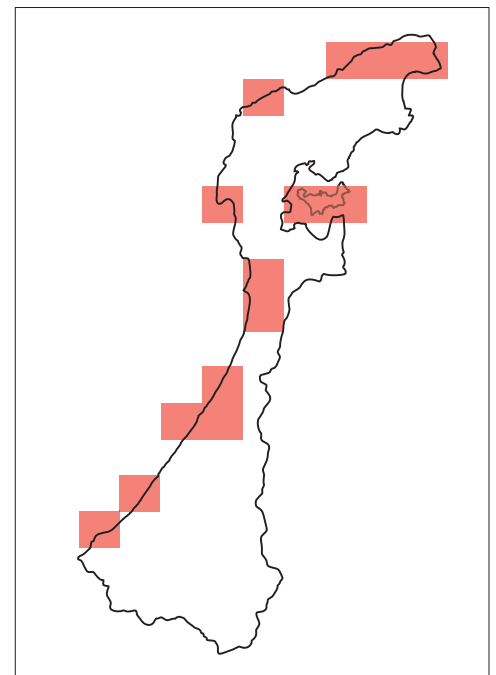
見分け方のポイント



イラストは、「加賀能登の植物図譜」(小牧旌著)より作成

調べやすい時期(花期)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月



(「石川県樹木誌図譜」, 石川県林業試験場(1987)を一部改変)



裏面に短い毛があり、白っぽい緑色をしている。葉が内巻きになる場合がある。